

日 時 令和8年5月19日(火) 午後3時15分から午後4時10分

場 所 市庁舎10階 1001会議室

出席者 別紙名簿のとおり

傍聴者 2名

## 1 開 会

## 2 議 事

### ●協議事項

(1)北くるりんの運行内容(案)について

事務局より会議資料に基づき説明。

⇒協議が調ったものとして合意した。

### 【主な意見・質疑等】

#### 国土交通省山形運輸支局

各ルートの子標利用者数等は想定しているのか。

#### 事務局(公共交通課)

今回は社会実験・ニーズ調査の側面が強いため、現段階で具体的な目標値は設定していない。運行した上でどこにニーズがあり、どうすれば継続性が確保できるかを検証したい。

#### 山寺地区自治推進委員

ジャンボタクシーがもし満車になった場合はどう対応するのか。

#### 事務局(公共交通課)

他の地区でのコミュニティバスと同様、満車になった場合は追加で普通車のタクシーを手配する。次の便まで待っていただくということではなく随時対応する。

#### 山形交通株式会社

運行日が水曜と金曜の2日間に設定された理由は。また、バス停はどのようなものを設置するのか。

#### 事務局(公共交通課)

水曜日はイオンのシャトルバスが運休するため、住民から運行の要望があった。金曜日については、土日は家族の送迎などで買い物に行ける高齢者が多いため、平日のほうが利用しやすいという住民の意見を反映した。

バス停については、令和6年度に実施した南くるりんのバス停を再利用する。北部公民館や下柳集会所などについては、貼り紙等に対応する。

#### 国土交通省山形運輸支局

赤ルートと黄ルートを1台で運行する際、遅れなどによる黄ルートの始発への影響はないようなダイヤ設

定(間隔)になっているのか。また、今回は9月～11月の雪のない時期だが、冬期間の運行の難しさについては、今回の実験を踏まえて今後検討していくというイメージか。

#### 事務局(公共交通課)

ダイヤ設定については、それぞれのルート間に15分程度の間隔を設けているため、遅れたとしても始発の時間には影響が出ないようにしている。冬期間については、今回は雪の降らない期間での検証となるが、この結果を通じて、冬場に通行できない場所なども踏まえながら今後検討していく。

#### 学識経験者

ルートの結節点であるイオン山形北店側から、買い物割引など特典はあるのか。このようなサービスを行うためには、公共側と民間との連携が不可欠だと思うが、連携といったこともこの実験の中に組み込んでいくのか。

#### 事務局(公共交通課)

イオン側とは9月からの実証運行に向けて協議を進めている。現時点では具体的なニーズ(乗車人数など)が見えないため、踏み込んだ交渉がしづらい面もある。今回の実験結果を受けて、来年度以降のあり方を検証していきたい。また、イオン山形北店は市北側の交通結節点としての機能を持たせる予定であり、その整備も含めて今後イオン側と今後協議を進めていく。

#### 鈴川地区自治推進委員

ルートに関しては、町内会長らと2回ほど集まって検討を重ねた結果なので、まずは一度実験を行って効果を確認したい。

#### (2)滝山東エリア相乗りタクシーの運行内容(案)について

事務局より会議資料に基づき説明。

⇒協議が調ったものとして合意した。

#### 【主な意見・質疑等】

#### 学識経験者

北くるりんも含め、運行後のアンケート調査等は重要であるため、しっかり設計してニーズを把握していただきたい。また、近所付き合いやコミュニティの活性化にも繋がるため、相乗りのインセンティブとしての料金設定は今後検討してほしい。

#### 事務局(公共交通課)

アンケート等は運行の検証・改善をする上で、実施する予定である。また、相乗りのインセンティブ料金については、相乗りが増えれば運行効率も上がるため、運行の検証を通じて、より利用しやすい料金設定を検討していきたい。

#### 鈴川地区自治推進委員

南くるりんの運行との関係はどうなっているのか。並行して走るのか。

#### 事務局(公共交通課)

南くるりんについては、令和 5 年度・6 年度の実験において利用が伸び悩んだため、現在は「休止」という形をとらせていただいている。今後、新駅の整備に合わせて、南くるりんの必要性を検証していく方針である。今回は、地区の方の生活の足の確保として、滝山地区に対してこちらのタクシー型を導入するもの。タクシー型については、滝山地区に限らず、市内全域に展開予定であり、自宅から目的地まで長距離となるエリアについては、料金設定も含めて検討していく。

#### 山形地区ハイヤー協議会

1日を通じて時間帯によらず予約が平準化するような制度設計だといひ。

#### 事務局(公共交通課)

予約状況の可視化(「この時間に予約すれば相乗りになって安く利用できる」といった状況がリアルタイムで分かるようなシステム)等、予約の仕方を含めた検討が必要と考える。

#### 山形地区ハイヤー協議会

事前予約なしで、例えばアプリ等で突発的に配車を依頼した場合は、この運賃ではなく通常のタクシー運賃になるのか。トラブルにならないか。

#### 事務局(公共交通課)

この事業は「事前登録した対象エリアの住民」のみが利用できる仕組みとして一般タクシーとは切り離しているため、登録者以外の突発的な利用や通常の配車アプリからの混同が起きないように運用する。

#### 滝山地区自治推進委員

特にバイパス(国道 13 号)より東側は大きなスーパーもなく、買い物に不便という声がある。南くるりんが休止になった後、新たな手段が求められていた。今回の相乗りタクシーがどのくらい利用されるか、しっかり検証して今後につけていただきたい。

#### ●報告事項

令和7年度「山形県村山地域共創 MaaS 観光交通実証事業」の報告について事務局より会議資料に基づき説明。

#### 【主な意見・質疑等】

#### 山寺地区自治推進委員

町内会で自宅からバス停や駅に行くまで足がなく、バス停や駅まで運んでくれるような交通サービスがあると非常に助かるとの話があった。

#### 事務局(公共交通課)

JR 駅までの足がない等の山寺地区が抱えている移動の課題は認識している。今回のおもてなし山形の実証(自動運転等を見据えた検証)とも情報を共有しながら、地域の方々にとって何が最適な公共交通なのか、今後も検討を重ねていく。

#### 事務局(おもてなし山形)

観光客だけではなく、地区の方へも波及できるようなサービスという視点を持って、事業を検討してい

きたい。

#### 東北芸術工科大学

レンタカーのナンバープレート分析は非常に興味深い。ETC2.0などのデータも活用できれば、どこで昼食をとっているかなど、より詳細な動向が分かると観光施策に活きるのではないか。

#### 事務局(おもてなし山形)

車両のセンサー設置は、現在山寺と銀山温泉、道の駅やまがた蔵王の3箇所となっているが、今後は山形銀行や道の駅やまがた蔵王、富士通 Japan 株式会社などとも連携し、蔵王温泉や蔵王インター等、県内各地へ設置箇所を増やし、設置期間を長くして広域な回遊データを収集・分析し、観光や交通施策に役立てていきたい。

### 3 閉 会

# 出席者名簿

(敬称略)

所属	職名	氏名	規約上の構成員区分	備考
山形市企画調整部	部長	奥山 泰子	山形市長又はその指名する者	
東北芸術工科大学	教授	吉田 朗	学識経験者	
山形交通株式会社	取締役営業部長	四釜 英彦	区域内の公共交通事業者	
山形地区ハイヤー協議会	会長	石川 康夫	〃	
国土交通省東北運輸局山形運輸支局	首席運輸企画専門官	鈴木 仁	区域内の地方運輸局	
山形県村山総合支庁総務課連携支援室	室長	菅原 美樹	都道府県	
国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所調査課	課長	松田 聡	区域内の道路管理者	
山形県村山総合支庁建設部道路課	課長 (代理：課長補佐)	小山 雄司 (代理：後藤 正孝)	〃	代理出席
山形市都市整備部道路維持課	課長	前田 真一	〃	
山形警察署 交通第一課	課長	山口 潤	区域内の警察署	
山形県交通運輸産業労働組合協議会	議長	齋藤 洋次	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	欠席
鈴川地区自治推進委員	自治推進委員長	武田 藤一郎	会長が必要と認める者	
滝山地区自治推進委員	自治推進委員長	土田 富夫	会長が必要と認める者	
山寺地区自治推進委員	自治推進委員長	遠藤 定治	会長が必要と認める者	

山形市企画調整部公共交通課	次長(兼)課長	城戸口 真一	事務局
	交通政策推進総括主幹 (兼)課長補佐	布施 浩治	
	課長補佐(地域交通戦略担当) (兼)地域交通戦略係長(兼)仙山 連携推進室連携推進調整主幹	小玉 正樹	
	交通ネットワーク係長	矢矧 史彰	
	主任	金野 真依	
	主任	尾形 朋成	
	地域公共交通推進員	西村 政雄	
おもてなし山形 株式会社			